

事業名 P T A指導者研修会

趣 旨 P T A活動の活性化を図るため、小・中・特別支援学校のP T A役員等を対象にP T A活動に関する研修会を開催し、指導者としての資質向上を目指す。

実施主体 新潟県教育委員会

参加対象 小・中・特別支援学校のP T A役員並びに会員、教職員、行政職員等

参加者数 271人

回 数 2回 **日 数** 2日 **時 間** 4時間

場 所 1回目：佐渡市真野ふるさと会館、 2回目：胎内市産業文化会館

内 容

回・期日・時間	テ ー マ	講 師 等
1回 6月14日 2時間 2回 6月28日 2時間	『主体的に学び行動するP T Aをめざして』 ～ 食の重要性について～	新潟医療福祉大学・ 大学院 教授 村山 伸子
内 容 ・ 方 法	演題「家庭教育における食育のあり方とP T A活動」 ○主な講演内容 ・食をめぐる現状と課題、なぜ食育か？ ・食育のすすめ方のポイント ・事例にみる学校、家庭、地域のつながりを大切にした食育のあり方 など 子どもの食生活に関する実態調査結果等具体的なデータをもとに、食事は「体の健康」と「心の健康」それぞれに密接な関係があることを説いた内容であった。	

成 果 ・ 食を通じた子どもの健全育成の取組事例を紹介する中で、P T A活動のヒントとして、「すべての子どもに」というときには「学校をベース」に、「すべての家庭に」というときには「父親」をターゲットとし「子どもから発信させる」ことがポイントであるとの指摘をいただいた。参加者にとって、今後主体的なP T A活動を展開する上において大変参考になった講演であった。

課 題 ・ 今後は、指導者研修会での学びの成果が各学校のP T A活動に生かされるよう、活動を組み入れた研修内容等を検討していく必要がある。また、各P T Aにおいても、研修成果を生かすための学習会を企画するなど、子どもの健全育成のために学びの輪を広めていくよう働きかける必要がある。

問合せ先 下越教育事務所社会教育課（担当：齋藤 憲）

そ の 他 参考資料として、P T A指導者研修会の開催に当たり作成した「下越管内全小・中学校を対象とした食事に関するアンケート結果」を次ページに掲載。

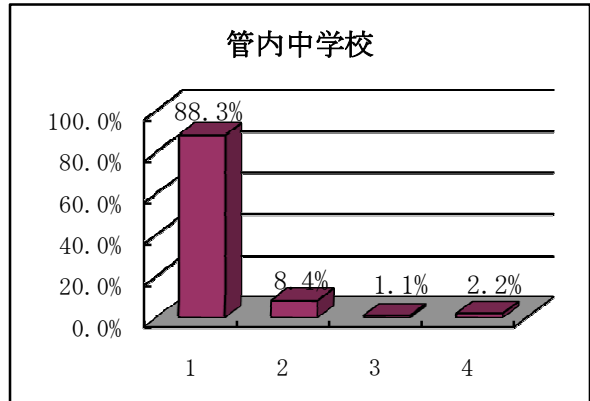
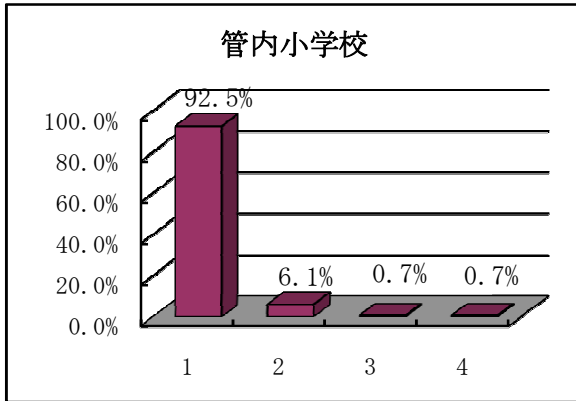
【参考資料】

平成19年6月実施

下越管内全小・中学校を対象とした食事に関するアンケート結果

☆ 毎日朝食を食べますか？

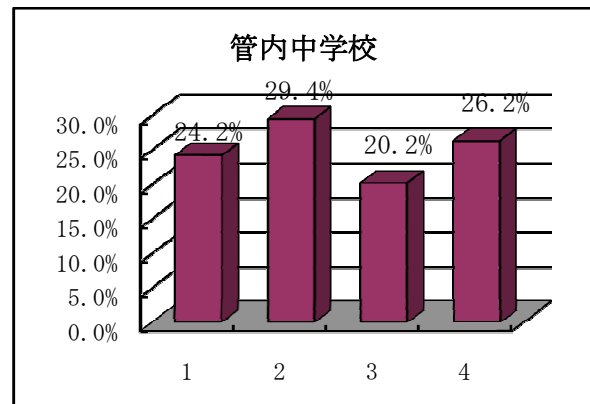
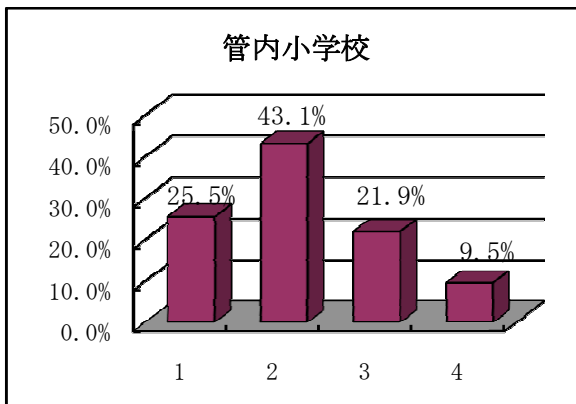
- 1 必ず食べる
- 2 週に2～3日食べないことがある
- 3 週に4～5日食べないことがある
- 4 ほとんど食べない



☆ どのように食事をしますか？

- 1 家族そろって食べる
- 2 おとなの家族の誰かと食べる
- 3 子どもだけで食べる
- 4 一人で食べる

《朝食について》



《夕食について》

